



発行：なごやか地域福祉2015推進事務局

『平成 28 年度つながり・支えあおう地域の福祉のすゝめ』を開催！！

去る 1 月 19 日（木）に名古屋市公会堂にて、「平成 28 年度つながり・支えあおう地域福祉のすゝめ」（主催：名古屋市・名古屋社会福祉協議会）が開催されました。本フォーラムは、地域における先駆実践者の事例発表を通じて、地域福祉活動への参加意欲の向上を図り、地域の福祉力の向上につなげることを目的として、昨年度から開催しているものです。現在活動されている方やこれから活動をしたい方まで 524 名の参加がありました。

今回は、盛況だったフォーラムの様子をお届けします。



日ごろの「つながりづくり」が大切なんだね！



地域でつながれる場所も必要になるよ。

基調講演

「つながり」づくりの処方箋

桃山学院大学の松端克文教授による講演会が行われました。講演では、家庭とコミュニティを舞台とした『サザエさん』から家庭と幼稚園を舞台とした『クレヨンしんちゃん』までには、地域コミュニティの希薄化がみられることを題材に、昨今の地域社会の変化をイメージしやすく説明いただきました。

最後は、つながりづくりが地域の福祉課題への処方箋であり、地域における第三の居場所づくりが重要であることを具体的な事例をあげながらまとめていただきました。

福祉ニーズの発見・把握

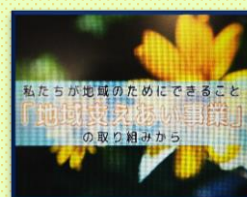
におけるつながりの必要性
福祉ニーズを充足していく
ためのつながりの必要性



地域支えあい活動 DVD 上映

名古屋市内で取り組まれている地域支えあい活動の様子を DVD 化！今回のフォーラムではその映像が初上映されました。参加者の方からは「今後の自分たちの活動にとっても参考になる」との意見が多く聞かれ、大変好評でした。

今回制作した DVD は今後地域支えあい活動を広げていくための啓発などで活用されます。



公式ホームページでは、計画の推進状況を順次お知らせしています。

なごやか地域福祉 2015

検索



地域の先駆的取り組みが発表された3つの分科会

分科会1 地域支えあい活動フォーラム

地域力UP！支えあい活動からはじまる地域づくり



分科会1では、「地域支えあい事業」において市内の小中学校区ごとで取り組まれている地域住民による支えあいや助け合い活動の事例の発表を行いました。

一人ひとりが抱えている困りごとを地域全体の課題として取り組んでいくために、身近な地域に相談窓口があることの意義や活動を通して見えてきた新たな課題などを地域住民同士で共有することの大切さ、区社会福祉協議会やいきいき支援センターなど専門機関との連携の必要性などを学びあいました。

【発表】東区筒井学区「筒井おたすけ隊」 熱田区白鳥学区地域福祉推進協議会
守山区本地丘学区地域福祉推進協議会 【コーディネーター】中村弘佳（名古屋市社会福祉協議会）

分科会2 ふれあい・いきいきサロン推進セミナー

ふれあい・いきいきサロンで創る地域福祉の多様な展開



分科会2では、市内でサロン活動を通して誰もが住みよい地域づくり・つながりづくりを進めている団体の事例について発表がありました。これからのサロンに必要なこととして、元気な方だけでなく、引きこもりがちの方が参加しやすい工夫やサロンの中で困りごとを相談し合い、助けあいや見守りの仕組みをいかに作っていくかが大切であることを学びました。

【発表】西区稲生学区「モーニングサロン「いこい」」、特定非営利活動法人かたひらかたろう
特定非営利活動法人 すけっとファミリー 【コーディネーター】松端克文 氏（桃山学院大学教授）

分科会3 なごやか地域福祉2015セミナー

つながる広がるなごやの地域福祉～平常時から地域で備える災害への取り組み～



分科会3では、熊本地震の被災地域での状況も踏まえ、日ごろ地域の中で実践している取り組みやその中で見えてきた課題などについて深めていきました。

コーディネーターや登壇者の方から災害発生時には住民・ボランティア・地域全体がお互いに支えあうことが大切であり、そのためには、日ごろから災害時要援護者についての情報を把握・整理しておくこと、いざという時のために日頃から住民同士が顔の見える関係だけでなく心の通う関係づくりを進めていくことが大切であるということを学びあいました。

【発表】南区桜学区連絡協議会、災害ボランティアコーディネーターなごや 椿 氏
【コーディネーター】認定NPO法人レスキューストックヤード 栗田暢之 氏

【編集・発行】名古屋市健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課 ・ 名古屋市社会福祉協議会総務部

Tel 052-972-2548 / Fax 052-955-3367